

親愛なる兄弟姉妹に訴ふ!!

私共は東紡四貫島工場に勤む二千七百人の従業員として、今更、會社が操業知能といふ名の下に一文の解雇手當も出さず無期停業となり、女工手を強制的に歸國させ、女工手を無理に轉部せしめ、更に請負歩合を引下し、私共を苦しめ無茶苦茶な事をなす。長らく辛抱して來たが故う辛抱が出来なくなり遂に去る。十月十七日に全男女工二千七百名、同結集した。

敬願書の重なる。

△強制歸國、強請書等の提出

△解雇手當、退職手當等

△日給、請負工資の増額

△食事、食堂の改善

△寄宿舎の改善 外出自由、強制送金貯金及び

△病院の改善

△各種手當増額 夜勤手當家族手當皆勤手當等 やその他

二十二條に訂る決議書を會社に提出して、おこなし、作業をせめて居たに拘はらず會社は何等感意ある回答をなす全部拒絶したため私共は改めて、要求書と、會社に提出して解答を得てゐます。之れ又全部無期停業にして此の上優良職工七十人を留めたのであります。

諸君よ! 東洋一をなぐる東紡の此の殘虐・此の卑鄙、非道の暴冷を見よ! 彼等は永久に年二割五分も二割の配當を此の不景氣に保持せなむと、正當なる要求を無視し、可憐な女工手を暴壓監視し、吾等に餓死と失業を強制してゐるではないか!

東紡四貫島工場工の爭議を應援よせ

吾等二千七百名の四貫島工場全従業員は此の暴虐に對し、此の冷血、無情の行動に決然と二十日總罷業を斷行し、彼等資本家を吾等の足下にふみにじり、吾等の要求の貫徹するまで決死的覚悟と奮闘を以つて闘争をつづけて行く決心だ!

お、親愛なる東紡の兄弟姉妹諸君よ!

此の爭議の勝敗は實に諸君の頭上にふりかゝつて居る。明日の生活! 明日の食事! 明日の病氣! に直接影響あるのだ。四貫島工場二千七百人の兄弟姉妹は今、生死の戦に奮闘してゐるのだ。同じ工場同じ會社の従業員此のストライキを對岸の火災視にすな! 人事に思ふな! 見殺しにするな!

起て! 諸君よ! 諸君の應援如何は此の戦を戦勝さすか惨敗さすかにあるのだ! 諸君は如何なる方法を以つても四貫島工場従業員と連絡を取り、同じ會社の従業員此の戦を大勝利せしめよ!

全従業員諸君の熱烈なる應援を乞ふ!!

十月三十一日

大阪市此花區市電四貫島停留所前

東洋紡績四貫島工場爭議團